

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年9月17日(木) No.28
文責：情野 夏美

マイペース学習への挑戦②

今回は、教頭先生、嶋倉先生のマイペース学習の様子をお伝えします。お二人の先生ともに、準備が周到で、誰一人として取り残さない工夫がたくさんありました。

【6年社会 武士の世の中へ 教頭先生】

2時間目(全6時間)※前時は一斉、2～5時間目マイペース、6時間目一斉

① 学習の内容やポイントがすぐわかる手引き

見ただけで、何を学習するのかがよくわかります。マイペースの時は、学習の視点があり、何をするか困らないように、そして、落としてほしくないポイントが示されています。また、学習内容の定着のため、チェックテストも用意されているとのことでした。学習の内容を漏らさない工夫が素晴らしいと感じました。

学習問題 めあて・調べ視点		キーワード 出来事や人物	学び方	教科書	資料集	動画	その他
1	武士の世の中の様子から、武士とはどのような人々なのかを話し合い、学習問題を作りましょう。 学習問題 武士の登場によって、貴族の世の中は、どのように変わっていったのでしょうか。	■ 武士	一斉	P44-45	P62-63	③武士の顔	
2	平氏は、どのように勢力をのびていき、なぜ力を失っていったのでしょうか。 ①平氏が勢力をのびた経緯 ②平氏はどんな政治をしたか。	■ 武士団 ■ 平氏と源氏 ■ 平清盛	マイペース	P46-47	P62-63	③武士の戦いの様子	
3	源平の戦いを通して、源朝はどのような武士の政治を目指していたのでしょうか。 ①源氏が平氏をはらばした経緯 ②平氏ははらばした後、源朝が進めた政治について	■ 源朝 ■ 源義経 ■ 征夷大将軍 ■ 鎌倉幕府	マイペース	P48-49	P63-65	③源朝 ③一ノ谷・壇ノ浦の戦い ③源義経	
4	源朝は、どのように武士たちを従えていたのでしょうか。 ①源朝が武士を従えた方法について ②源朝の死後、鎌倉幕府はどうなったか。	■ 北条氏 ■ 北条時宗 ■ 北条義時	マイペース	P50-51	P65	③切通しの跡 ③鎌倉への道 ③鎌倉幕府のしくみ	
5	鎌倉幕府は、どのように元寇と戦ったのか、どうなっていたのでしょうか。 ①元寇について ②御家人たちは、幕府に対してどのようなことを考えるようになったか。	■ 元寇 ■ 北条時宗 ■ 一所懸命	マイペース	P52-53	P72-73	③元寇の戦い	
まとめと単元テスト			一斉	P54			

② 個に鋭く刺さる支援

机間指導中には、児童に困っていることを聞きながら声がけや支援をされていました。教科書や資料集、ロイロで送った動画などから、何のどこに注目するといいか、どこを読むといいかなど、児童が自分で読んで気づけるような声がけをされていました。全体を周り、進捗状況についても確認されていました。何をするか分からなくて止まっている児童が一人もおらず、全員が課題に真剣に向き合う姿がありました。



③ 教科書のたくさんある情報の中から必要な情報を読み取ることの大切さを指導

「教科書を熟読してね。」と何度もおっしゃっていました。どの教科にも言えることですが、教科書に書いてあることを正確に読み取り、学習に生かす力がとても重要になってきていると感じました。実際に子ども達も、教科書に指を指したり、線を引いたりして、読み込んでいました。以前参加した研修会で、教科書の読み方を指導しているというお話を聞きました。教科書、資料集、様々な資料などの膨大な情報から、自分に必要な情報を読み取る力をどんどんつけていきたいと感じました。



【5年国語 たずねびと 嶋倉先生】

2時間目一斉学習で今後の計画立て（全7時間）

※1時間目一斉、3～5時間目マイペース、6、7時間目一斉

① 国語のマイペース学習の可能性大！

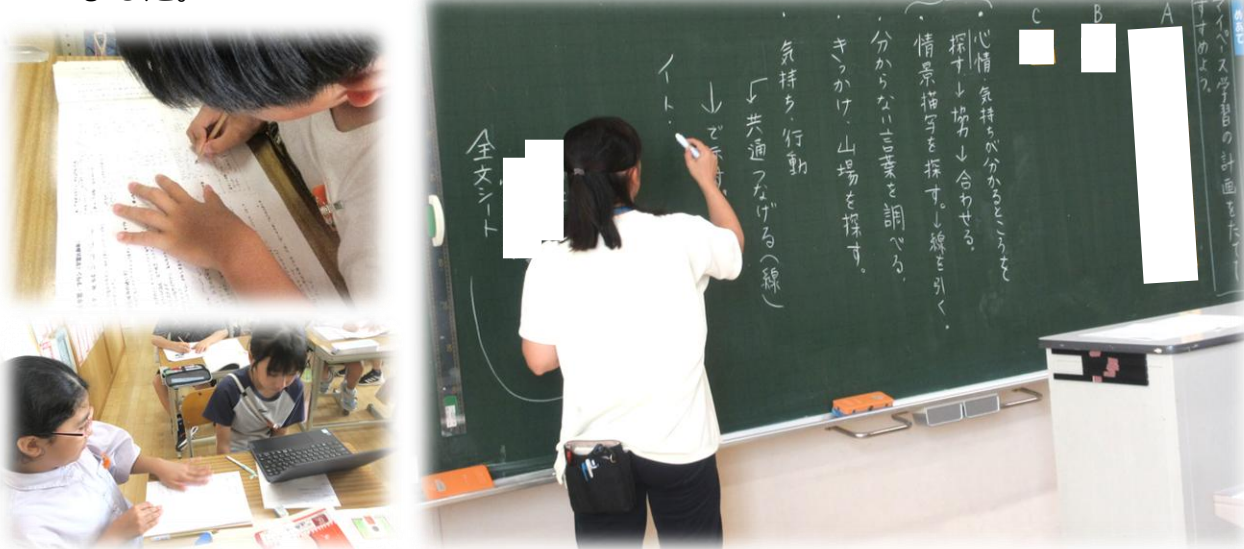
本時では、3～5時間目で行うマイペース学習の学習計画を立てていました。自分で選んだコース（A：綾の心の変容追究 B：表現方法・情景描写追究 C：「たずねびと」の意味追究 D：マイ・オリジナルコース）の内容を追究するための学習計画を、黙々と一人で考える子もいれば、同じコースの友達と一緒に考え合う姿がありました。子ども達に、物語をどうやって読み取っていくのかを考えるとところから委ねていて、一斉とはいうものの、各々が自由に考えている姿から自己の学びを調整しているなと感じました。国語のマイペース学習を参観する機会が少なかったので、今回参観させていただいて、国語科でのマイペース学習の可能性を感じました。これからどのようにして子ども達は学びを進めていくのだろうと、私の方が楽しみになりました。

4. 学習のスケジュールと振り返り計画

時間・めやす	自分の計画（今日やること・速度）
第1・2時間 (単元のスタート)	・初発の感想を書く ・コースの決定と学習計画をつくる
第3時間	言葉がなから心へ響かされている所がある(綾の) ↓ どこで変化しているかを 素直に書く。
第4時間	どうして変わったのかを考える。 ↓ 何がきっかけで変わったのか を考える。
第5時間	気持ちや行動が共通している ところと1つに書いて線をつなげる。
	・自分の調べたこと

② 机間指導と全体共有のバランス

前半は、机間指導を行い、児童の考えややりたいことを引き出すような声かけをしながら計画を立てるための手助けをされていました。後半は、児童が考えた計画を発表させ、その内容を価値付けながら、困っている児童のために計画の内容を紹介していました。ただ委ねっぱなしにするのではなく、全体で共有したりまとめたりすることで、全員が学習のねらいからそれないなと感じました。



～教頭先生と嶋倉先生の授業から感じたこと～

・誰一人として取り残さない工夫

→冒頭にも記載しましたが、学習の漏れ、遅れがないように、机間指導による声かけや支援、手引きの準備、一斉に戻すなどの工夫がたくさんされていました。

・手引きの有効性

→単元の目標や学習内容、学習計画、ふり返りなどが1枚にまとまった「手引き」が素晴らしいです。児童の「何すればいいですか？」が無くなり、自分で自分の学びを進めることができる子が育つと感じました。